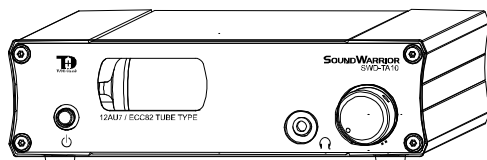


SOUNDWARRIOR

真空管バッファ付パワーアンプ[®]

SWD-TA10

取扱説明書



Sound Warrior's Class D stereo power amplifier with 12AU7 tube buffer.

目次

1 はじめに.....	2	4-3 SPEAKERS スピーカー出力端子の接続.....	7
1-1 安全上の表示説明.....	2	4-4 SPEAKERS ACTIVE SPEAKERS端子の接続.....	7
1-2 安全上の注意.....	2	4-5 DC IN 電源入力端子の接続.....	7
1-3 取扱い上の注意.....	3	5 操作.....	8
2 各部の名称.....	4	5-1 電源を入れる.....	8
2-1 前面操作部.....	5	5-2 スピーカーで聴く.....	8
2-2 背面端子部.....	5	5-3 アクティブスピーカーで聴く.....	8
2-3 側面.....	5	5-4 ヘッドホンで聴く.....	8
3 設置.....	6	5-5 電源を切る.....	8
3-1 底面クッションのとりつけ.....	6	6 お困りのときは.....	9
3-2 前面パネルデザインの変更.....	6	6-1 電源が入らない.....	9
4 本機と外部機器との接続.....	7	6-2 音が出ない、または音が途切れる.....	9
4-1 ANALOG IN LINE入力端子の接続.....	7	6-3 パワーインジケーターが消灯、音が出ない.....	9
4-2  ヘッドホン出力端子の接続.....	7	7 仕様.....	10



このたびは SWD-TA10 デスクトップスピーカーアンプをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください。
この取扱説明書は保証書とともに大切に保管してください。

1 はじめに




1-1 安全上の表示説明

絵表示について

誤った取扱いをしたときに生じる危険や障害の度合いを以下の表示で区分しています。









	警告	この表示を無視して使用された場合、死亡または重症を負う恐れがある内容を示しています。
	注意	この表示を無視して使用された場合、障害を負う、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容を以下の表示で表しています。

	製品の取り扱いに於いて諸注意を促す内容を示しています。
	製品の取り扱いに於いてその行為を禁止とする内容を示しています。
	製品の取り扱いに於いてその行為を強制する内容を示しています。

1-2 安全上の注意



1-2-1	<p>異常が発生したら、電源コードをすぐに抜いてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 煙や異常な臭い、異常な音がする。 ● 内部に水が入ってしまった。 <p>ただちに使用をやめ、販売店に修理をご依頼ください。</p>	
1-2-2	<p>布をかけたりして本機の放熱を妨げないでください。また、狭い場所など通気性の悪い場所に設置しないでください。火災の原因となることがあります。</p>	
1-2-3	<p>屋外や風呂場等では使用しないでください。内部に異物や水が入り、火災や感電の原因となることがあります。</p> <p>異物や水が入り込んだ場合はACアダプターを抜き、販売店に修理をご依頼ください。</p>	 
1-2-4	<p>分解や改造は行わないでください。火災や感電の原因となります。</p> <p>点検、修理は販売店にご依頼ください。</p>	
1-2-5	<p>本機付属以外のACアダプターは使用しないでください。</p> <p>海外など、指定以外の電源で使用しないでください。</p>	
1-2-6	<p>ACアダプターに布をかぶせたり物を置いたりしないでください。またコードの上に物を置いたり、コードを傷つけたりしないでください。火災や感電の原因となることがあります。</p>	
1-2-7	<p>ACアダプターのプラグは、乾いた布で定期的に清掃してください。ほこりなどがたまってると火災の原因となります。</p>	

1-2-8 雷が鳴りだしたら本機、接続機器、接続コード、ACアダプターに触れないでください。
感電の原因となります。



1-3 取扱い上の注意



1-3-1 不安定な場所に設置しないでください。落下によるけがの原因となります。また十分な放熱を確保するため、壁や他の機器から離して設置してください。



1-3-2 環境の悪い場所に置かないでください。火災・感電の原因になることがあります。

- 湿気やほこりが多い場所
- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる場所



1-3-3 本機は水平な場所に、横または縦に設置してください。



1-3-4 めれた手で AC アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
抜くときはコードを引っ張らず、プラグを持ってください。
長期間使用しないときは AC アダプターをコンセントから抜いてください。



1-3-5 お手入れの際は AC アダプターを抜いてください。
本体の清掃はアルコールやシンナー等を使用せず、固く絞った雑巾で拭いてください。

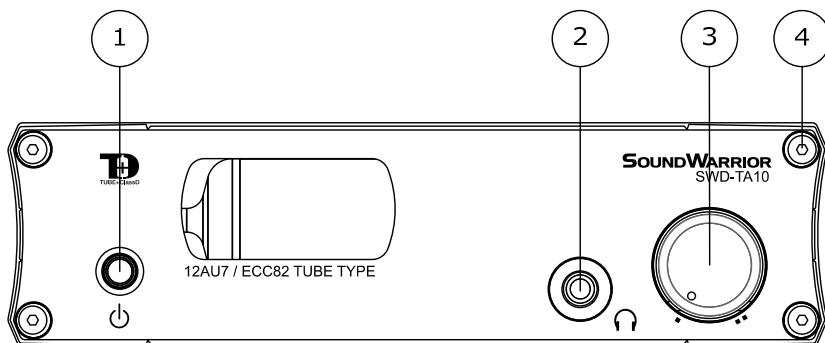


1-3-6 電源を入れる前に音量を下げてください。突然大きな音が出て、聴力障害や機器の故障につながる恐れがあります。

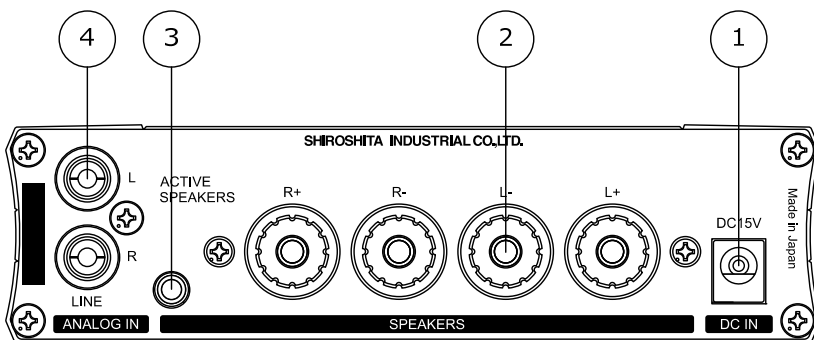


2 各部の名称

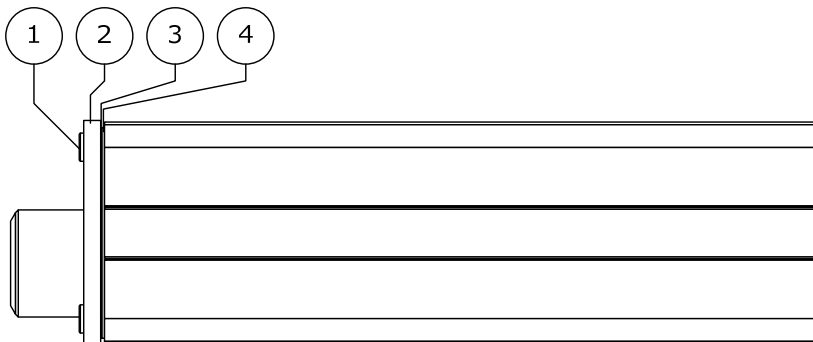
2-1 前面操作部





2-2 背面端子部



2-3 側面



2-1 前面操作部

- | | | | |
|---|---|----------------------------|--|
| ① |  | POWER ボタン
POWER インジケーター | 電源の入/切をします。
電源の状態を表示します。
(消灯：電源オフ、点滅：待機状態、点灯：電源オン) |
| ② |  | ヘッドホン出力端子 | |
| ③ | | 音量調節ツマミ | 左へ回すと小さく、右へ回すと大きくなります。 |
| ④ | | パネル固定ボルト | フロントパネル類を固定します。 |

2-2 背面端子部

- | | | | | |
|---|-----------|-----------------|----------------|-------------------|
| ① | DC IN | DC15V | 電源入力端子 | 電源を入力します。 |
| ② | SPEAKERS | L+/L-/R+/R- | スピーカー出力端子 | スピーカーに出力します。 |
| ③ | " | ACTIVE SPEAKERS | アクティブスピーカー出力端子 | アクティブスピーカーに出力します。 |
| ④ | ANALOG IN | LINE | LINE 入力端子 | アナログ音声信号を入力します。 |

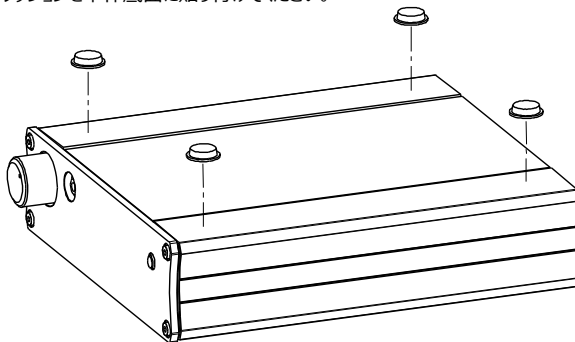
2-3 側面

- | | | |
|---|----------|--|
| ① | パネル固定ボルト | フロントパネル類を固定します。 |
| ② | 透明パネル | |
| ③ | 文字シート | 縦置きまたは横置きに合わせて選べます。お買い上げ時は横置き用が取り付けられています。 |
| ④ | 金属パネル | |

3 設置

3-1 底面クッションのとりつけ

お好みにより、付属の底面クッションを本体底面に貼り付けてください。

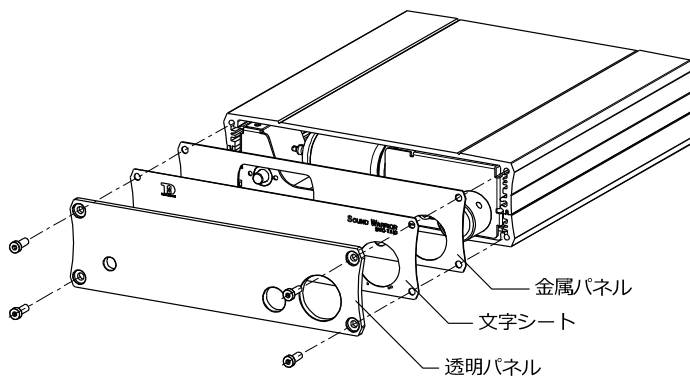


3-2 前面パネルデザインの変更

付属の六角レンチでパネル固定ねじを外すと、前面パネルを外すことができます。

シートを横置き用から縦置き用に交換したり、シートとベースパネルの間に自作シートを挟み込んでデザインを変えたりしてお楽しみいただけます。

- ※ パネル交換の際は、本体内部に異物等が入らないようご注意ください。
- ※ 付属の縦置き用文字シートは、両面の保護フィルムをはがしてお使いください。



4 本機と外部機器との接続

4-1 ANALOG IN LINE入力端子の接続

CDプレーヤーやD/Aコンバーターなどのライン出力端子と、ステレオオーディオケーブル（RCAピンプラグ）で接続します。

4-2 ヘッドホン出力端子の接続

ヘッドホン（φ3.5ステレオミニプラグ）を接続します。

4-3 SPEAKERS スピーカー出力端子の接続

スピーカーターミナルにスピーカーコードを接続します。

4mmバナナプラグでの接続も可能です。

接続の際は、LとR、+と-、にご注意いただき、ショートのないよう確実に接続してください。

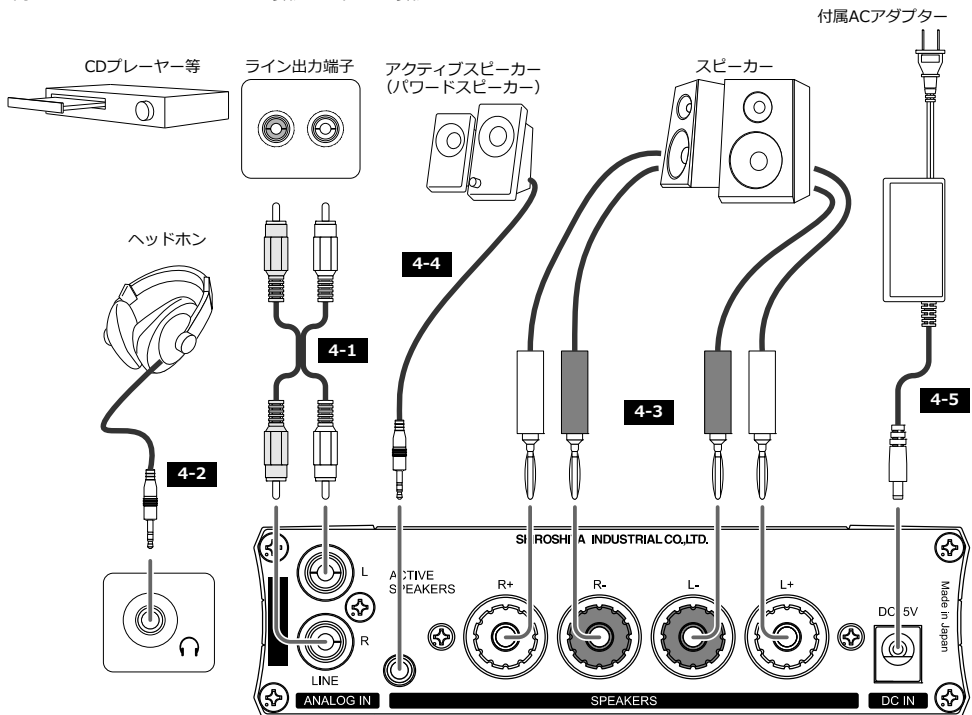
4-4 SPEAKERS ACTIVE SPEAKERS端子の接続

アクティブスピーカー（φ3.5ステレオミニプラグ）を接続します。

4-5 DC IN 電源入力端子の接続

音量調節ツマミを最小位置にします。

付属のACアダプターとACコードを接続し、本機に接続します。



5 操作

5-1 電源を入れる

音量調節つまみを最小位置にし、POWER スイッチを押して電源を入れてください。
パワーインジケーターが数秒点滅（待機状態、音声無出力）し、点灯します。
※ 電源投入時に真空管が一瞬明るく発光することがありますが、異常ではありません。

5-2 スピーカーで聴く

ANALOG IN に接続した機器の音声を再生します。
音量調節つまみをゆっくり右に回し、お好みの音量位置にします。
（入力機器及びスピーカーの接続は、4 本機と外部機器との接続 を参照してください）
最大出力を超えると保護回路が動作し、パワーインジケーターが消灯（電源オフ状態）する場合がありますので、ご注意ください。

5-3 アクティブスピーカーで聴く

ANALOG IN に接続した機器の音声を再生します。
音量調節つまみをゆっくり右に回し、お好みの音量位置にします。
（入力機器及びスピーカーの接続は、4 本機と外部機器との接続 を参照してください）
スピーカーとの同時接続は可能ですが、同時使用の場合スピーカーの出力が若干低下します。

5-4 ヘッドホンで聴く

ANALOG IN に接続した機器の音声を再生します。
音量調節つまみをゆっくり右に回し、お好みの音量位置にします。
（入力機器及びヘッドホンの接続は、4 本機と外部機器との接続 を参照してください）
ヘッドホン出力端子に接続時、スピーカーの出力は切断されますので、ご注意ください。

5-5 電源を切る

ANALOG IN に接続した機器の音声を停止します。
音量調節つまみを最小位置にし、POWER スイッチを押して電源を切ってください。

6 お困りのときは

6-1 電源が入らない

原因として主に考えられること	対処方法
1 ACアダプターの接続に異常がある。	1 ACアダプターを確実に接続してください。 必ず付属のACアダプター（DC15V）をご使用ください。（DC12Vでは動作しません）

6-2 音が出ない、または音が途切れる

原因として主に考えられること	対処方法
1 入力機器側に異常がある。	1 入力機器の動作状態を確認してください。
2 ケーブルの接続に異常がある。	2 4本機と外部機器との接続をご確認いただき、ケーブルを確実に接続してください。ケーブルに切断等がないか確認してください。

6-3 パワーインジケータが消灯、音が出ない

原因として主に考えられること	対処方法
1 最大出力を超えている。	1 本機は、最大出力を超えると保護回路が動作し、パワーインジケータが消灯（電源オフ状態）する場合があります。最大出力を超えないようボリュームを下げてください。 保護回路が動作した場合には再度電源を入れ、ご使用ください。

7 仕様

総合

使用真空管	12AU7
電源 (AC アダプター)	AC100V 50/60Hz (AC アダプター)、DC15V (本体)
消費電力	最大 45W
動作温度	0~40℃
外形寸法	W145.4×H40×D165mm (突起物含まず)
本体質量	約 0.85kg

アナログ入力

端子	RCA ピンジャック
定格入力	0dBm

スピーカー出力

端子	4mm バナナプラグ対応スピーカーターミナル
最大出力	15W×2 (4Ω負荷時)
適合インピーダンス	4Ω以上

ACTIVE SPEAKERS 出力

端子	φ3.5 ステレオミニジャック
最大出力	+10dBm (ボリューム最大時)

ヘッドホン出力

端子	φ3.5 ステレオミニジャック
最大出力	45mW×2 (40Ω負荷時)

付属品

AC アダプター×1、AC コード×1、縦置き用文字シート×1、六角レンチ×1、
保護クッション×4、取扱説明書×1、保証書×1

仕様や外観は予告なく変更する場合があります。

SOUNDWARRIOR

城下工業株式会社

〒386-0015 長野県上田市常入 1-1-58

TEL 0268-22-0612

<http://www.shiroshita.com>